

受講生の声

■今まで実習指導者として学生や実習担当教員と関わってきましたが、実習指導者としての知識や技術がないまま行っていました。講習会では、教育の基本から学べ、対象を認知すること、現代の青年期の特徴や看護理論など、指導者として必要な知識を基本から学ぶことができている。また、学生を把握して、よりよい実習環境を整え、学んでもらえるように仕向ける、といった指導者として何をすればよいのか、学ぶことができている。

■実習指導者養成講習会で、どんなことを学ぶのかよくわからないまま参加をしました。実際に参加をして、教育・心理・倫理・発達など様々なことを学び、対象(学生)を理解することの大切さを実感しました。講義の中には、指導者としてだけでなく、自分を知ることや育児に役立つ内容もあり、とても良い学びの機会を頂けたと思っています。また、このような場でなければ関わることのできない他の病院の方々と出会うことができ、同じ悩みや仕事のことなど、話すことができ、楽しいです。自分の成長のためと思って、頑張りたいと思っています。

■講習会では、人間とは、発達とは、教育心理学、授業の展開方法など、実習指導に必要なことを学び、毎回とても興味深く楽しく受講できています。この年で看護理論を学べたことは、自己の看護観を振り返り、深める機会となっており、自己の成長へとつながられています。同じ目標をもった仲間たちと過ごす時間は、他の人の考え方や物の見方、看護観に触れる貴重な機会となっており、視野を広げることができています。後半はより核心に迫った内容となるので、さらに気を引き締めて頑張りたいと思います。

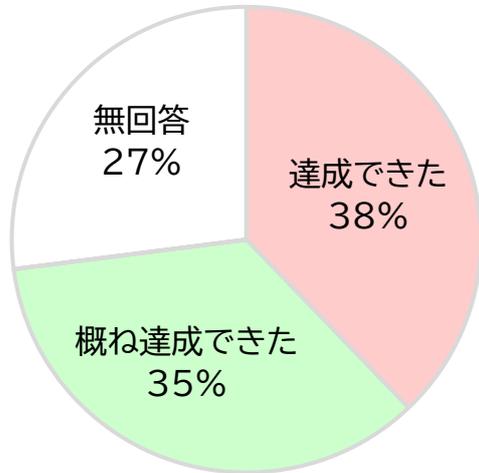
■実習指導者養成講習会では、実習指導者に求められる知識や技術を修得するだけでなく、群馬県内の実習指導に携わる看護師との関りが大きな収穫になっています。実習指導をする上で、困難に感じていることは多々あり、それが私個人の悩みではなく、他の病院の実習指導者も同じ悩みを抱えていることがわかりました。お互いに情報交換や情報共有をしながらの演習は、貴重な経験になりました。また、看護学教員だけでなく、教育心理学を専門とする教員の講義では、新たな視点を学ぶことができ、看護学だけにとらわれていた自分自身の行動を振り返ることができました。後半には、臨床の実習指導者の方の指導の場面を見学する「参加観察実習」があります。参加観察実習を通して、自分の課題に気づき、新たな学びを得たいと思っています。講習での学びを少しずつ指導に活かしたいです。



修了生の声

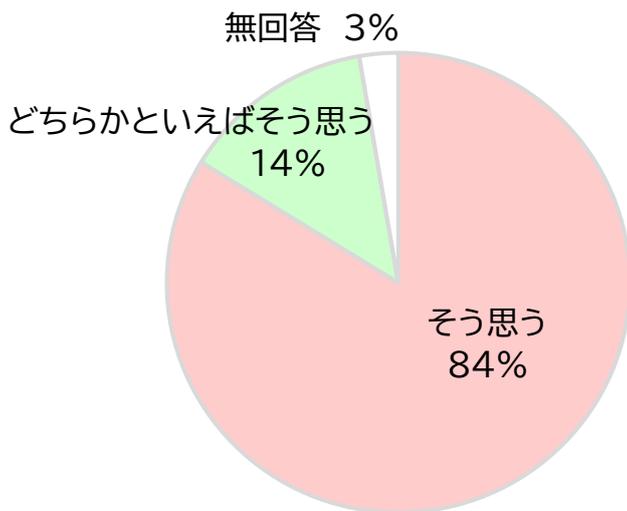
～ 令和5年度 講習会修了時アンケートより ～

Q1 講習会の目標は達成できましたか

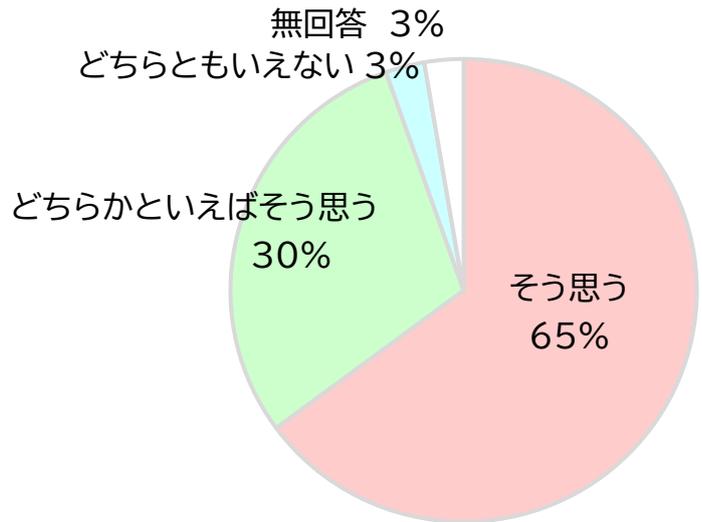


Q2 講習会の内容についていかがでしたか

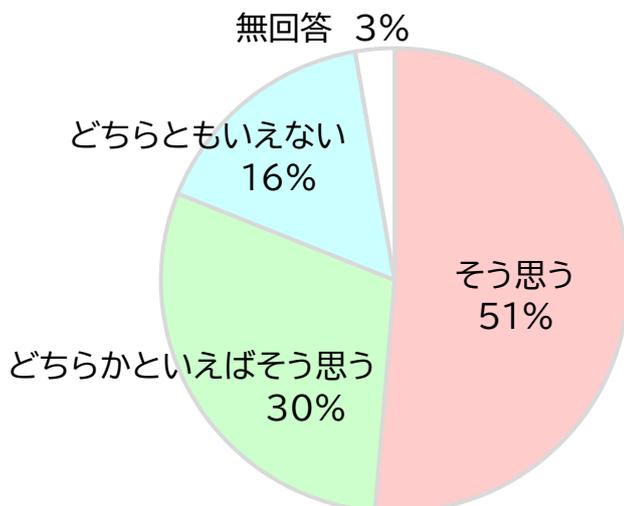
●学習目標が明確に設定されていた

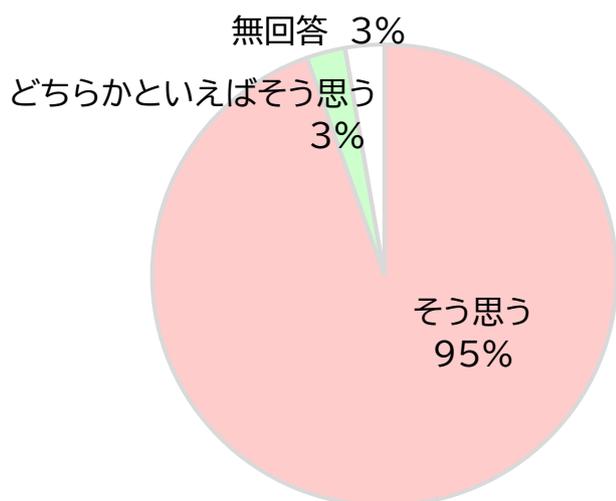


●コースの内容はよく整理、計画されていた



●コースの学習量は適切だった





受講生からの感想(一部抜粋)

- 教育学から始まり、徐々に実習指導に必要な科目へと移行されていて、段階的に理解できるようなカリキュラムだった。各授業につながりがあり、大事な内容は何度も講義に出てきて、とてもわかりやすかった。
- 臨床での参加観察実習では、実習指導者の実際の指導場面を観察できてよかった。指導場面を客観的に観察したことで、自己の課題にも気づけた。また、実際に実習を体験してみて、学生気分を味わい、緊張の中で学生が学んでいることの理解にもつながった。
- グループワークやロールプレイを通して、自分が学んだことだけでなく、他のメンバーの考えも共有することで学びを深めることができた。すぐ実践できることなので、学習したことを活用したい。ロールプレイが非常に楽しかった。
- 現在の学生の状況や実習指導における指導方法を学ぶことができ、実習指導者としてやるべきことが明確になった。教育が楽しいことに気づけた。



修了おめでとうございます。皆さんのこれからのご活躍を期待しています。